



# GOOD NEWS ときのかえ

# War Cry

6月号

福音版  
2018  
June  
No.2768

二〇一八年 六月一日発行 明治二十八年創刊 福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

## わたしの目にあなたは貴い

西村 和江

きるのだと思います。

けれども人間は、時に心変わりすることがあります。信頼していた人に裏切られる経験をした人は、人を信じるということに恐れを感じるようになってしまします。人間の愛は完全ではないことを知ってしまったからです。



人はどんな時に不幸だと感じるのでしょうか。自分が思い描いていた人生でなくなつたとき? 経済的に苦しくて食べる物にも困るようなとき? それよりももっと私たちが不幸だと思うのは、誰からも愛されていない、必要とされていない、と感じるときではないでしょうか。たとえ現実の生活に困難さを抱えていても、愛する家族や大切な友がいて、自分の存在がそのまま受け入れられているとき、私たちは幸せを求めて一歩一歩前に進む力を得ることができ

聖書に記された神は、私たち一人ひとりをこの世に形造り、命の息を与えてくださいました。私たちが神を知っているか否かにかかわらず、神はご自分の作品として、私たち人間を完全な愛をもって愛し、見守り続けてくださっています。「わたしの目にあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛し」(イザヤ書43章4節)

ア及び宗教的ケアを行う専門職としての務めの中で、多くの人々と出会う機会をいただいています。それらの出会いを通して教えられることは、「神がすべての方を愛しておられる」ということです。お一人おひとりとは、それぞれまったく違う人生を歩み、家族背景も、経済状況も、病気の経過も、病院での入院期間も違います。意思表示が難しい方や認知症の方もおられます。キリスト教を信仰している方も中にはおられますが、特に宗教をもたない方、あまり関心がない方もおられますから、チャプレンとの関わり方も、当然それぞれです。けれども、すべての人に対して言えることは、聖書に示されているように、「あなたの人生は、神の目には貴いもの、価値あるものとしてあること、あなたは、神に完全に受け入れられている」ということです。

プース記念病院では、すべての患者様の誕生日を職員でお祝いします。枕元にうかがい、その方のお名前を呼び、「ハッピーバースデートゥーユー♪」と歌うのです。中には「もう、めでたい年齢ではない」と言われる方や、病院で迎える誕生日は嬉しくないというお気持ちの方もおられます。それでも、どんな状況にあつても、数十年間という年月、生まれてから今日まで、目には見えなくても背後にあつて守り導いてくださった神に感謝し、今生かされていることを確認する瞬間をもちたいと願っています。たとえ病気やあらゆる困難な状況にあつたとしても、「恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。大河の中を通つても、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、焼かれず、炎はあなたに燃えつかない」(イザヤ書43章1、2節)

(救世軍士官(伝道者))

プース記念病院では、すべての患者様の誕生日を職員でお祝いします。枕元にうかがい、その方のお名前を呼び、「ハッピーバースデートゥーユー♪」と歌うのです。中には「もう、めで

# 神様からいただいた、人生最後のご褒美！

「こんな幸せな、天国のような生活ができるなんて」救世軍の老人保健施設グレイスに入所した母は、何度も感謝の言葉を口にしていました。ちょうど二年前の五月、母秀子は九十七歳で天国に帰って行きました。今振り返ると、母の人生の最後に、神様のご褒美をくださったような、グレイスでの日々でした。

生きるこの意味を求めて 秀子は一九一九（大正八）年、中国の青島で生を受けました。秀子の父方の親族は、お茶の水のニコライ堂建立に尽力した人の一人だったそうです。秀子が幼い頃父が病を得て帰国。療養を経て回復した父は、ラジオの販売を始めました。けれども、しばらくは元気がなかった父が再び病に倒れ、

娘五人息子二人の七人の子どもを抱える生活は苦しくなりました。そこで、長女であった秀子は十九歳の時、家族のために、とお給料が良い上海の日系企業で働き始めたのでした。上海で必死に働いて仕送りをしていましたが、働く喜びを感じることができませんでした。会社の寮では、怖い思いもし、生きている意味さえ失い、自殺を考えたこともあったそうです。

い主として信じ、救われたそうです。 信仰をもつてからの秀子は、働くことにも喜びを覚えるようになりました。そして、様々な誘惑に負けないよう、神様から心をまったく潔めていただきたい、と会社から帰ると毎日祈り始めました。そんなある土曜日の夜、祈りながら寝てしまった秀子が目を覚ますと、すでに夜が明けていて、目覚めた瞬間真っ赤な字が目の前に現れ、



母 島崎秀子の生涯を通して…… 豊城 みや子

「イエスの血、すべての罪より我らを潔む」の罪より我らを潔む」(ヨハネの第一の書第一章7節・文語訳聖書・イエスが十字架で流された血によって、私たちのすべての罪が清くされる、の意) という聖書の御言葉が迫ってきたそうです。秀子は、「潔められた！」と、嬉しさにあふれて教会に行きました。すると、松村牧師に祈るよう勧められ、そのとおりにすると、天から聖霊が降ってきて秀子を包み、全身に聖霊が満ちていくの

「イエスの血、すべての罪より我らを潔む」の罪より我らを潔む」(ヨハネの第一の書第一章7節・文語訳聖書・イエスが十字架で流された血によって、私たちのすべての罪が清くされる、の意) という聖書の御言葉が迫ってきたそうです。秀子は、「潔められた！」と、嬉しさにあふれて教会に行きました。すると、松村牧師に祈るよう勧められ、そのとおりにすると、天から聖霊が降ってきて秀子を包み、全身に聖霊が満ちていくの

がわかった、いうことでした。 その素晴らしい経験を通して、ますます信仰に励み、仕事をしながら、キリスト教の伝道にも熱心になったのでした。そのころの伝道で導かれた方は、その後、生涯秀子を師として大切に思ってくれていた、と聞いています。

献身者としての出発 イエス様の救いを一人でも多くの人に、という思いは、弟妹への仕送りの必要もなくなったころから伝道者として生きる決意へと導かれました。戦前に帰国して以来お世話になっていたホーリネス教会の星野栄一牧師の養女になり、神様に生涯を献げる、「献身者」として新しい人生を始めました。二十九歳の時です。 しばらくの学びを経て、島根県の濱田にある、小さな教会に単身で赴任。小さな教会ですが、一生懸命伝道するうちに、一人の若い女性、英子さんが教会に来るようになりました。 彼女は、結核に倒れ、死を覚悟するような状態にお



母の教会に導かれた女性たち

のです。 結婚してしばらくは夫婦で教会の働きをしていたそうです。秀子はよく、濱田での伝道の日々を振り返って、大変だったけれども楽しかった、と話していました。 賀川豊彦牧師をお招きして特別集会をした話なども聞きました。

## 東京での日々

私の兄が生まれた頃、東京に転居。父は建築会社で仕事を建て家族を養うようになり、毎週日曜日には、家族で教会に通いました。やがて、父は一級建築士の資格を取り、独立して設計事務所を構えました。



島根県濱田の教会で奉仕していたころの母（中央和服の左隣の女性）

母は、「何をしても献身は変わらない」と日々聖書を読み、祈りながら父を支え、子どもたちを育てていました。 私は、子どもの頃は教会に行くのが大好きでしたが、中学の頃はしぶしぶ通っていました。そして、高校に入ると、部活もあって教会に通わなくなっていました。そんなある時、母が当時通っていた教会に、「母の日だから、母と一緒に教会に行ってみよう」という気持ちでついて行きました。すると、私はその教会の雰囲気がとても気に入りました。そこには、高齢の牧師夫妻の他に、独自の女性教職者がおられ、優しく私を信仰に導いてくださいました。ところが、優しく導いてくださったその方が、母が濱田にいた間に教会に導かれた英子さんだったことを後に知りました。母は何十年かぶりに彼女に会うためもあって、その教会に通ったのでしよう。母が導いた女性が私の信仰を導いてくださるなんて、本当に神様のなさることは素晴らしいと思います。

晩年を迎えて 九十三歳になった母は、それまで「最期まで自宅で過ごす」と言っていたのですが、繰り返し倒れては救急車で病院に運ばれることが重なるようになり、退院後三日で倒れて病院に運ばれた時、とうとう「もう無理かも」と言ったのです。 それでは、施設を探さなければ、と動き出して思い出したのが、それより約十年ほど前に亡くなった父が一度入院したことのある救世軍ブース記念病院でした。父はブース記念病院でキリスト教の病院の心地よさを感じていました。その後、父は他のキリスト教系の病院で、本当に良い最期を迎えることができました。 それもあって、私は自分の家からも通いやすい場所を調べ、ブース記念病院に併設している老人保健施設グレイスを見つけると「ここしかない」と思いました。直接入所申し込みの電話をしてみましたら、入院していた病院のケースワーカーを通じて申し込むよう言われました。すると、



グレイスからブース記念病院を望む

ケースワーカーも驚くほど様々なタイミングが良かったようで、入所できる運びとなりました。 当時、かなり弱っていた母でしたが、グレイスでは礼拝もあり、本当によくしていたので、「嬉しい、嬉しい、こないだのこと、これから始まるとは思わなかった」とだんだん元気になっていました。 娘としての切なる祈り 十七歳で洗礼を受けた私は、二十五歳の時に、「イエス・キリストの十字架こそが、信仰の中心である」と、十字架の本当の意味を理解しました。 独立した父の仕事は順調で、朝早くから夜遅くまで両親は本当に毎日忙しく働いていました。やがて、年老いていく両親の姿を見るうちに、かつて濱田の小さな教会で、貧しいながらも

一生懸命伝道した両親のことを、神様はずっと祝福してくださっていると思えました。そして、「イエスの十字架は自分の救いのためである」と信じた人の生涯を、神様は必ず最期まで導いてくださるに違いない、と確信したのです。 娘としての私の願いは、両親が最期まで神様の祝福を感じながら、天国への希望をもって、安心して過ごせるようにしてあげたい、ということでした。

神様からのご褒美 グレイスには、兄の通っている教会の故大塩清之助牧師も母をたびたび訪問してくださいと、葬儀は私がします」と言ってくださるほど、母のことを大切にしてくださいました。英子さんも足しげく見舞ってくださり、共に神様からの祝福を分かち合う、本当に幸せな日々を過ごすことができました。 母は、九十七歳の誕生日後すぐにブース記念病院に入所。病床ではいつも手を合わせて祈っていました。 「御国に帰ります。天のお父様のところに行きます。天国に行きます」と、死をまったく恐るる様子はありませんでした。そして、約一カ月後に天に召されました。葬儀は、ブース記念病院内のチャペルで大塩牧師に司式をしていただきました。 グレイスに入所できたことは、神様が、周りの人のために生きてきた母に、最後のご褒美をくださったように感じています。(キリスト兄弟団三鷹教会 信徒)



天国に召される数日前の母と

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。

創立者 ウイリアム・ブース 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン)

日本司令官 ケネス・メイナード (救世軍本営 東京都千代田区)

http://www.salvationarmy.or.jp



### 世界をみつめて

#### 〈ヨーロッパ〉各地での難民支援

2015年、難民危機のニュースが世界中で報道されました。以来現在も、第二次世界大戦以上の数の難民が、住み慣れた故郷を離れ続けざるを得ない状況にあります。救世軍は、ヨーロッパの各地で難民の支援をしていますが、イギリスとギリシャでの支援の様子が動画で配信されました。

●イギリスでは、家を準備してシリアの家族を受け入れ、交流の場を提供し、生活支援をしています。(https://www.facebook.com/FalmouthSalvationArmyChurch/videos/10155238683587477/)



●ギリシャのアテネで難民の受け入れをしている女性の救世軍士官(伝道者)の姿をイギリスのFruitmediaが配信しています。救世軍は、難民への食事や生活支援と共に、危険な状況にある女性への支援に取り組んでいます。移動中に暴力を受け、売春を強制されていた若い女性を救出。彼女は現在、救世軍の支援センターで他の難民の支援をしています。また、士官が売春地域で支援活動をしていた真夜中、ある場所で支援の拠点を求める祈りを大声で献げたと、翌朝一本の電話があり、支援活動のために建物を無償で貸してくださいという申し出を受けました。その建物は、不思議にも祈りを献げた場所の目の前でした。売春に立ち、子どもを3日間家に放置していた女性との出会いと支援など、過酷な状況にある人々への支援が記録されています。(https://vimeo.com/263039919)

## 第2回 救世軍社会鍋俳句コンテスト 入賞作品発表!

全国から四百四十一句寄せられました。三浦貴代子氏(日本クリスチャンペンクラブ代表)他の選者による厳正なる選考の結果、左記の方々の句が入賞いたしました。

〔優秀賞〕

白杖の手探り入れたる社会鍋

東京都・高島恵子

〔特別賞〕

生きている感謝を入れし社会鍋

福島県・井上弘子

社会鍋 嬰抱く母の凛として

千葉県・ペンネーム 安田蝸牛

〔ほのぼの賞〕

幼子はパンダの財布 社会鍋

北海道・熊谷明也

インスタに笑顔溢れる社会鍋

三重県・会田卓也

年の暮れラッパを奏し50年

東京都・平本保子

〔社会福祉部長賞〕

社会鍋 みんなの心がつながって

岡山県・山本修爾

やさしさが集まるように社会鍋

埼玉県・柳沢凛

社会鍋 凍てつく心を温める

埼玉県・三宅智也

社会鍋 きらきら光る心かな

埼玉県・大橋涼花

社会鍋 人の心を灯しけり

埼玉県・瀬戸口創太

授賞式は、六月十日(日)「救世軍創立記念コンサート」(下記参照)の席上、おこなわれます。

### 救世軍創立記念コンサート 及び 第2回社会鍋俳句コンテスト授賞式

日時: 6月10日(日) 午後3時 会場: 山室軍平記念ホール

出演: ジャパン・スタッフ・バンド (英国式金管バンド)、渋谷小隊唱歌隊(合唱)、小谷野みぎわ(独唱)



## 救世軍とは? What is the Salvation Army?

心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍はイギリスに国際本部があり、世界128の国と地域で活動する、プロテスタントのキリスト教会です。1865年、イギリスのメソジスト教会の牧師だったウィリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールにおぼれる人々、搾取される女性や顧みられない子どもたち、災害に遭った人々などに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道の拠点である小隊(教会にあたる)を開設。廢娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童養護や女性保護、アルコール依存症者回復支援など、時代にさきがけて、人々の必要に応える様々な働きを興してきました。

救世軍の医療の働きは、100年以上の歴史をもち、東京・杉並区にある救世軍ブース記念病院及び東京・清瀬市にある救世軍清瀬病院は両病院ともホスピス病棟をもち、医療・介護と共に霊的なニーズに応える働きをしています。

#### (取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホリマセン、モルモン教ではありません。これらの問題はお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

#### 発行日及び定価

▼発行日 福音版・毎月一日発行

▼定価 福音版・奇数月十五日発行除く七月

福音版・一部 四〇〇円

クリスマス特集号(十二月一日号)

・一部 一〇〇円

振替・〇〇一八〇五四〇〇

発行兼 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナード

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

神田神保町二丁目十七

電話 東京(03)三三七〇八八一

救世軍本営

印刷所 図書印刷株式会社